

# 1. “多様な正社員”という働き方

## (1) 多様な正社員とは

パート・アルバイトや派遣社員など非正社員として働く方は、日本の雇用者全体の4割近くを占めており（平成28年）、高い水準が続いています。非正社員のなかには、雇用が不安定であり、正社員と比較して処遇が低いこと等を理由に、生活に不安を抱えている方もみられます。また、仕事で求められる能力を身につけるための教育訓練（OJTや研修等）を十分に受けることができていないと考える方も少なくないかもしれません。

正社員として働く方のなかにも、転居を伴う勤務地やこれまでとは異なる職務内容の部署への人事異動（配置転換）があったり、残業が頻繁に発生するなどして、ワーク・ライフ・バランスが思うように実現していないと悩む方もいるでしょう。

そのようななか、近年、注目されている働き方が「多様な正社員」です。それは、多様な正社員が正社員と非正社員の間をうめる働き方、すなわち「安定した雇用の下で、ワーク・ライフ・バランスを実現できる」働き方であるためです。

一般的に、いわゆる正社員（従来の正社員）は「①労働契約の期間の定めがない（定年まで働き続けることができる）」「②所定労働時間がフルタイムである」「③直接雇用である（勤務先企業と働く方が雇用契約を直接締結する）」方のことを指します。

多様な正社員は「①労働契約の期間の定めがない」「③直接雇用である」点はいわゆる正社員（従来の正社員）と同じですが、いわゆる正社員と比べて「配置転換や転勤、職務内容や勤務時間などの範囲が限定されている」方のことです。企業によっては、限定の内容（勤務地、職務、勤務時間）を一つにせず、いくつか組み合わせるケースもあります。

図表1 「◇多様な正社員」と「◆いわゆる正社員」の比較

	共通点	相違点
◇勤務地限定正社員	・労働契約の期間の定めがない ・直接雇用である	・転勤するエリアが限定されていたり、転居を伴う転勤がなかったり、あるいは転勤が一切ない正社員
◇職務限定正社員		・担当する職務内容や仕事の範囲が他の業務と明確に区別され、限定されている正社員
◇勤務時間限定正社員		・所定労働時間がフルタイムではない、あるいは残業が免除されている正社員
◆いわゆる正社員 （従来の正社員）		・勤務地、職務、勤務時間がいずれも限定されていない正社員

※企業によっては、たとえば「勤務地かつ職務限定正社員（転居するエリアが限定されており、かつ、担当する職務内容が1つに限定されている正社員）」といった働き方を持つケースもあります。

多様な正社員の具体的な例は、図表2の通りです。

図表2 「多様な正社員」の例



読者のなかには、多様な正社員への理解が進むにつれ、雇用は安定しているものの、いわゆる正社員と比べて働き方が限定されるため、活躍の場が狭まるのではないかと「いわゆる正社員と同じようにキャリアアップすることができないのではないかと心配した方もいるかもしれません。しかしながら、その心配は不要です。

多様な正社員としての働き方を導入している企業の多くが、「多様な正社員からいわゆる正社員への転換制度」を導入しています。併せて、転換に向けた能力を身につけるため、また、いわゆる正社員と同じ内容・責任の仕事を担当してもらうための教育訓練や昇進・昇格の機会も提供しています。

多様な正社員として働く8名の先輩の事例をみても、自身が望むキャリアアップを実現するため、勤務先の各種制度を利用しながら積極的に仕事に取り組んでいることがわかります。

図表3 多様な正社員のままキャリアアップをめざす主な事例

事例No.	概要
事例No.1 (勤務地限定) グロービート・ジャパン株式会社 山ノ下さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>中途採用で勤務地限定正社員である「エリア社員」として入社。エリア社員のまま、店長をめざす。</li> <li>育児が一段落後、いわゆる正社員に転換することも視野に入れている。</li> </ul>
事例No.4 (勤務地限定) 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社 高柳さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>中途採用で非正社員である「パート社員」として入社。14年後に勤務地限定正社員である「店舗限定社員」に転換。店舗限定社員のまま、店長をめざす。</li> <li>ゆくゆくは「エリア限定社員」に転換し、エリアマネージャーまでステップアップしたい。</li> </ul>
事例No.6 (勤務地限定) 株式会社ミキハウス 額額さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>中途採用で非正社員である「アルバイト」として入社。3年後に勤務地限定正社員である「キャリアスタッフ」に転換。キャリアスタッフのまま、店長をめざす。</li> </ul>

なお、企業によっては、いわゆる正社員と異なり、多様な正社員には昇進・昇格の上限を設定しているケースもあります。その場合には「多様な正社員からいわゆる正社員への転換制度」を導入し、多様な正社員がいわゆる正社員に転換することにより、同じキャリアを築くことができるようにしていることが多いようです。